



やまぶき

創刊68号
春号
グローバルライフ
生石
敬愛・実践・信頼

『挨拶』

やまぶきは、春に咲く可憐な花です。花言葉は、「崇高」、気品が高いです。私達は入居された方々のプライベートや尊厳を大切に生活をサポートしていきます。やまぶきを通じて皆様の活々とした暮らし、山吹色の輝く笑顔をお伝えします。



「やまぶきの花」
グローバルライフ生石にて

ご入居者の句です。
鶯の 鳴きつぐ朝に 墨をする(亡き夫は書が好きで春も早朝から墨を磨っていました)
思わざる 友の訃報や 春風(春に亡くなった友の葬儀の日の天候と心模様)
太き手の 夫の調理や のほり蟹(蟹をいたたき、俺が調理する)と言った亡夫の手を想い
先日お願いし書いていただいたT様の作品です。人生の達人に脱帽です。
コロナ禍で三度目の春となりました。蕾から満開へと至る桜の便りを聴き、施設に籠る入居者のお気持ちを想い、換気しつつ下車しない条件でお花見ドライブへ行きました。皆さん少人数に分かれ、当然マスクもしています。
「綺麗!」この季節が一番ねの声に職員もマスクの下で笑顔となりました。
春色桜花爛漫の季節の中で、四月一日に入社を迎えた社員がいます。
この春に無事、新たに二名の職員を迎えることが出来ました。今年には経験者が来てくれました。例年のことではあります。喜びと緊張感を持って当日を迎えました。挨拶を聴き、真新しい新なやる気に身が引き締まりました。改めて新型コロナウイルス対応を遣り切る心に誓いました。
さて令和四年四月二日の家族懇談会は、新型コロナウイルス対応の為に中止とさせていただきます。入居者ご家族の皆様へ、会社と施設の状態についてご報告し、施設運営についての意見交換を行えず残念でなりません。代わりに昨年の活動報告と今年の計画を書面でお送りし、ご意見は書面でいただきました。
「毎月写真を添えての報告ありがとうございます。コロナで会えないので楽しみに読んでいます。ありがとうございます。お声をいただきました。厳しくも温かいご意見をありがとうございます。ご協力に感謝いたします。
また、皆様の面会制限等の協力を得て、令和三年秋から四年春まで新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等の患者は零人でした。努力を続け、新型コロナウイルスを封じ込めてゆきます。
新年度を迎え、当社はより仕事をするための環境を充実させることで、職員の定着化と職員の資質の向上をはかり、皆様に提供する介護サービスのより一層の高みを目指してまいります。私どもは入居者様のニーズをご家族様と職員とで共有しながら、共に悩み、解決していくことを希望しております。
グローバルライフ生石は、ご家族様と心を寄せ合い「みなさんの「気づきの心」で、ご入居者の皆様を支えていける」、そんな施設づくりを今後とも目指してまいります。
『入居者が主人公、徹底して介護をさせていただく』これがすべてであります。

介護付有料老人ホームグローバルライフ生石
施設長 平野修一

ご利用下さい

日用品の注文

(火・金曜日)
《重石百貨店》
身の回りの日用品を配達していただけます

訪問理美容

《ビューティフルライフ・リンデンB》
カット・カラーなど施設内で(要予約)

コープおおいだ

(毎週月曜日14時半頃)
1階 玄関前にて販売

パン移動販売

(水曜日13時頃)
《白いプランコ》
1階 玄関前にて販売

めがね・補聴器

(月1回)
《ヤノメガネ》
メガネや補聴器の購入から修理等



祝 100歳
おめでとうございます

1月17日にS様、3月30日に様がそれぞれ100歳のお誕生日を迎えられました。コロナ禍の中、残念ながらご家族様と一緒に祝いすることはできませんでしたが、その分職員やご入居者様でいっぱいお祝いさせて頂きました。ひと言で100歳と言っても今日までの道のりは決して楽ではなかったはず。お二人を加え、ご入居者様96名中100歳以上の方は6名となりました。更に、90歳以上の方は47名とご入居者様の約半数を占めています(4/1時点)戦後の日本を支え、苦しい時代を乗り越え、現在の礎を作った皆様と一緒に時間を共有することが出来、有難い気持ちでいっぱいです。生活しにくい時代になってしまいましたが、その中でもまた思い出を重ねていけるようにしていきたいです。

~~編集後記~~

コロナ禍で迎える3度目の春。今年は例年以上に寒さが厳しい冬だったため春の訪れが一層待たしなかったのではないのでしょうか。今まで一番ヒヤヒヤしながら過ごした第6波、行動も気持ちも今まで以上に閉じ込めてようやく迎えた春でした。紙面でも紹介しましたが、3月末から4月の中旬にかけて、久しぶりにお花見に行ってきました。ずっと外出に制限をさせて頂いており、病院受診や必要な用事以外で出かけることは本当に久しぶりだろうと思わず考えてしまいました。車内からのお花見でしたが、いつも以上にそわそわ、ウキウキと童心に帰ったように感情豊かに喜ぶ姿にどれだけの我慢を強いられたのだろうと、胸にグツとするものがありました。桜が咲いたらお花見に、こんな当たり前のことすら自由に出来ないこの数年。私たちが悪いわけでも、誰が悪いわけでもないですが、だからこそ寂しさや悔しさ、苦しさなど渦巻く様々な感情をどこへぶつけ、消化していったらいいのかわからないそんな日々が続いています。既に第7波の入り口と称されるこの数日、終わりの見えない日々はまだ続いてしまうのでしょうか。コロナ禍ですっかり出不精になってしまいましたが、外をのんびり歩くと桜だけではなく様々な植物が芽吹き、新たな季節の訪れを教えてください。その正直さを羨ましいと思いつつ、ここまですると、何をどう足掻いてもなるようにならない、そんな気すらしてきます。だからこそ、心に余裕を持ち、日々を少しでも楽しく、明るく笑顔で過ごしていくことが最善の方法かもしれません。新たな年度の始まりです。今年こそは!という希望を胸に抱き、皆様と笑顔で過ごしていきます。最後になりましたが、長引く面会制限にご理解とご協力を頂き、心から感謝致します。1日でも早く、手を取り合って直接ご面会出来る日が来ることを私たちも切に願っています。
生活相談員 小林優美

~お知らせ~

『グローバルライフ生石』では、入居者様および入居を検討される方に『入居契約書』、『重要事項説明書』等をいつでも閲覧できるよう、1Fエントランスに備え付けており、またホームページ上にも公開しております。

介護付有料老人ホーム **生石**
グローバルライフ

お問合せ **097-548-5133**

一人ひとりで **大家族**
大分市大字生石37番地の7

株式会社 **サンケアシステム**
<http://www.suncaresystem.jp>



ひなたぼっこ



気候も良くなり、お天気の良い日はひなたぼっこを。外に出て、背伸びをするだけでも気持ちがよくくなりますね♪

パステル画



春を意識して、梅の花をモチーフにしたパステル画を。春らしい色使いが素敵でした。

おやつ作り



春のおやつ作りはどら焼きを。桜あんを挟んで、桜の花びらに乗せて、お抹茶を点てて頂きました。

運動レク



桜の木



桜の花びらに、好きな食べ物や願いごとなど、自由に書いて頂き枝にペタペタ。皆様の思いの詰まった満開の桜が出来上がりました。

お花見



3年ぶりにお花見へ。車からは降りずに施設近隣の桜、城址公園～平和市民公園～大分川の河口の桜並木など市内の名所を巡り車内から桜を楽しみました。来年こそは、ゆっくりと桜の木を見上げて過ごしたいです。

二〇二〇年新型コロナウイルス感染症が発症し三度目の春を迎えました。

施設では基本的な感染対策は勿論の事ですが国内の感染者情報を共有し感染対策としての啓発活動を行っています。また、皆様のご理解とご協力の元、ご入居者様 職員の三度目のワクチン接種も無事に終了しました。

いつ誰が発症してもおかしくない昨今ですが施設からの発症者がいないのが幸いです。看護部では目に見えないリスクとどう向き合っていくか、病院受診にしても調整をし、神経を使う日々が続いています。一日も早く安心して生活できる日常に戻ることを願い、今後ともできる事のない感染症に対応して行きます。

さて、看護部は常勤スタッフ六名、パート三名、クラーク一名で構成されています。看護師は熟練者が揃っており、知識と経験そして気持ち若く、日々の業務に取り組んでいます。

企業理念である「質の高い介護、看護サービスを提供する事で、皆様のお役に立っていきま」を念頭に入居者の皆様が安心、安全な生活の場としてグローバルで過ごしていただけるよう引き続き、各部署と連携し、皆様の健康管理をしていきたいと思っております。今後とも宜しくお願い致します。

看護部部長 堀田明美

新型コロナウイルスによる影響で大変な状況ではございますがご家族の皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

介護部では是永リーダー長が三月を持ちまして定年退職されました。引き継いで四月より介護長として就任いたしました友永多得子です。

また一月より新人職員の入社が続き四月で五名の新しい仲間が介護部に増えました。皆さん介護歴五年以上のベテラン新人です。わたくし新人介護長共々頑張りますのでよろしくお願いたします。

また、介護部としては入居者の皆様の思いを大切にしその人らしい生活が続けられるようお手伝いし、笑顔を引き出せるようレクリエーションやコミュニケーションを続けて参ります。入居者の皆様の笑顔は私たち介護職員をも笑顔にさせていただきます。

専門職として初心を忘れず向上心を持ち続け皆様に寄り添うことができお役に立てるような介護、そしてご家族の皆様にも安心していただけるような介護を今後も目指してまいりますのでどうぞよろしくお願いたします。コロナが終息しご家族の皆様とお会いできる日を心待ちにしております。

介護部 介護長 友永多得子

昨年七月より相談室で室長をさせて頂いております。那須と申します。

平成二十三年に介護スタッフとして入職しました。入社当初は本当に何もできず、何も知らなかった私ですが、あつという間に十年が経ち今もここで働き続ける事が出来ているのは、入居者様やご家族様、そして他のスタッフから暖かな応援を頂いているからだと思っています。ありがとうございます。今は皆様のお役に立てているでしょうか。

皆様から頂く温かい言葉も、普段身の回りのお手伝いをさせて頂いている介護スタッフの皆さんや、看護師の皆さん、そして適切に医療的なケアを提供して下さっている医療機関の方々や地域の皆様のお力があって、初めて頂ける物だと思っています。

入社当初に「あなたは福祉の業界に初めて入りました。福祉」とは、弱者救済が目的です。それを忘れ無いうに。」と当時の管理者に改めて教わり、それは今もこれからも私の行動原理です。

新型コロナウイルスの影響はまだまだ続きそうです。入居者様やご家族様へ不便な想いをおかけしてしている事を心よりお詫び申し上げます。入居者様のご様子の確認や、ご不明な点等ございましたら、いつでも相談室までお問い合わせ下さい。今後ともよろしくお願いたします。

生活相談室長 那須裕